

# 美川おかえり祭り「動く文化財」



職人の手で仕上げられる美川中町の台車

＝白山市美川浜町

## 台車 74年ぶり大修復

白山市美川地区の「おかえり祭り」で使われる、美川中町の台車を修復が、二十三日までにほぼ完了し、二日目の夜に、同地区の十町で持ち回りとなっている「動く文化財」も、同地区の十町で言われる台車の大規模な修復は七十四年ぶり、三つの車輪は約二

### 車輪3基を 初めて新調

建造200年

百年前の建造以来、初めて新調された。二十日、同市美川地区の職人約二十人が昨年六月に同市美川地区の藤塚神社でおはらいを、町民に披露される。今年のおかえり祭りは五月十六、十七日に行われる。初日は美川地区の各町などが所有する十三台の台車が神

夫に仕上げられた。北島壇店四代目の北島昭浩さんは「何百年でも持つように、しっかりとした作りにした。町の人が愛さる台車と色が重ならない黒と緑に塗り替えられ、大切にしてもらいたい」と話した。町を意匠化した模様だ。

丸いも焼耐の仕込み本格化  
能美の宮本酒造店  
能美市のブランド第一号である加賀丸いも焼耐「のみよし」の仕込みが、能美市宮本町の「宮本酒造店」で本格化している。写真に詰める作業が進んでいる。今後、蒸留や瓶詰め作業を順次行い、七月に出荷を開始する見通しで、宮本周司社長は「丸いも特有のやさしい風味を多くの人に味わってほしい」と話している。

